

PAT-NO: JP411041332A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11041332 A

TITLE: PORTABLE TELEPHONE CLIP

PUBN-DATE: February 12, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SAOTOME, SHUNICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

SAOTOME SHUNICHI

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP09228775

APPL-DATE: July 23, 1997

INT-CL (IPC): H04M001/11, H04M001/12 , A47G029/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve portability by fixing portable radio equipment on a pocket or the partition of a bag without overlaying the entire portable telephone with a cover.

SOLUTION: A rod is provided on one piece of clips as a clip part 1. This rod is equipped with a hook 2 for slide. A bearing 3 for accepting the clip part is equipped with the hook 2 for slide and attached to a portable telephone 4. The clip part 1 is passed through this bearing 3 for use. The clip part 1 is slid as needed so that the bottom side of the portable telephone can be touched to the bottom side of the pocket. Thus, when the portable telephone is fixed by this instrument, the portable telephone is hung on the pocket and the problem of generating unnecessary creases on the pocket can be solved. Further, since the position of this clip is made adjustable, it is applicable to levels of pocket depth, but also a variety of portable telephone lengths.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-41332

(43)公開日 平成11年(1999)2月12日

(51)IntCl.<sup>9</sup>

識別記号

F I

H 0 4 M 1/11

H 0 4 M 1/11

Z

1/12

1/12

A

// A 4 7 G 29/00

A 4 7 G 29/00

A

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平9-228775

(71)出願人 597077171

早乙女 俊一

(22)出願日 平成9年(1997)7月23日

東京都渋谷区本町5-34-10

(72)発明者 早乙女 俊一

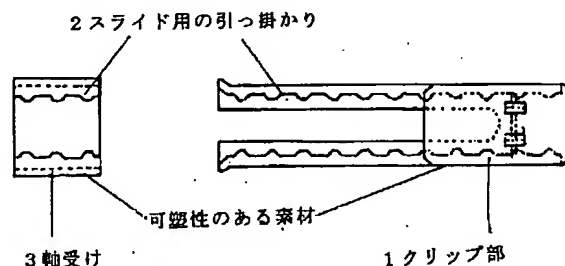
東京都渋谷区本町5-34-10

(54)【発明の名称】 携帯電話クリップ

(57)【要約】

【課題】 携帯電話をポケットに入れたり、鞆に入れると、ポケットから落ちる、ポケットの中で位置がずれる、鞆の中で紛れる等する問題があった。カバー式の携帯電話カバーはベルトにしか固定できず、大きさもかさむが、本発明は、携帯電話全体をカバーで覆う事なく、ポケット、鞆の間仕切り等に携帯無線機を固定出来る様にし、上述の問題を解決し、携帯性の大幅な向上を達成する事を課題とした。

【解決手段】 携帯電話全体をカバーで覆う事なく、携帯電話に直接にクリップを設け、衣服のポケット、鞆の間仕切りに固定可能とする。又、必要に応じ、本装置の着脱機能、クリップ位置調節機能を持たせ、更に利便性を増す。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】携帯電話、PHS、ポケットベル等に全体的に覆うカバーを利用せず、直接に設けるクリップ。

【請求項2】請求項1のクリップに着脱機能を付加したクリップ。

【請求項3】請求項1のクリップにクリップ位置調節機能を付加したクリップ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、携帯電話、PHS、ポケットベル等（以下“携帯電話”と総称）の持ち歩きの利便性を増す為に、携帯電話を衣服のポケット、鞆の間仕切り等に固定出来るようにする保持具に関する物である。

【0002】

【従来の技術】 携帯電話を持ち歩く場合、携帯電話ホルダーの付いた鞆、携帯電話カバー等を使用せず、裸のまま直接持ち歩く場合、以下のような様々な問題があった。先ず、ポケット（特に胸ポケット）に入れておく、と、前かがみになる等姿勢を変えた際にポケットから携帯電話が落ちて傷つく、破損してしまうといった問題があった。又、スーツ上着のポケットに携帯電話を入れておくと、スーツの上着を脱ぎ、スーツを手を持った際等、ポケットから携帯電話が落ちてしまい、破損、紛失してしまうという問題があった。又、スーツの内ポケットの中に携帯電話を縦に入れても、斜め、横方向にポケット内で携帯電話の位置がずれてしまい、ポケットに好ましくない膨らみを生じさせる等の問題もあった。又、鞆に入れる場合でも、書類等の他の内容物の間、及び下に潜り込んでしまい、鞆の中で携帯電話を探さなければならない等の不便さがあった。しかし、これら上述の携帯電話持ち歩きの際の問題をすべて解決する従来の技術は無く、その一部を解決する以下の技術があるのみである。

（イ）鞆に携帯電話専用のポケットを設ける。これは鞆の中でのみ有効なものであり、鞆があっても身体に付けて持ち歩きたい場合、鞆を使用しない場合等は無効なものであり、上述のすべての問題を解決するものではない。

（ロ）携帯電話にカバーを付け、そのカバーにベルトに通す帯を付けたり、フックをつけ、ベルトに固定させる。本固定装置は、携帯電話にカバーを付け、カバーに付いた帯やフックをベルトに通し固定するものである。しかし、固定先がベルトに限定され、ベルトを着用しない場合には使用できないといった問題がある。又、携帯電話を全体的にカバーで覆う為に大きさがかさんでしまったり、使用の際にカバーより出し入れしなければならなかったり、カバーをしたまま使用できる物でも操作性に難があるといった問題もある。又、携帯電話本来のデザイン、小ささが活かされない等の問題もある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、携帯電話を衣服のポケット、鞆の間仕切り等に容易に固定出来るようにし、携帯電話の携帯の利便性を高め、同時に携帯電話がポケットより落ちてしまう、ポケットの中で位置がずれてしまう、鞆の中で紛れてしまうといった持ち歩きの際の欠点を克服するものである。又、従来のカバー式の固定方法の問題であった、ベルトにしか固定できない、大きさがかさんでしまうといった問題も同時に克服するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 携帯電話にカバー等を付け全体の大きさを増してしまう事なく、携帯電話を衣服のポケット、鞆の間仕切り等に容易に固定出来るようにし、携帯の利便性を高めるには、クリップを携帯電話に直接取り付け、そのクリップでポケット、鞆の間仕切り等を挟み、固定させる事である。更に、不必要な場合は取り外しが出来る様、着脱可能とすると更に利便性が増す。又、携帯電話の長さがポケットの深さに満たない場合、携帯電話をクリップでポケットに固定すると、携帯電話がポケットにぶら下がり、ポケットに不要なシワを生じさせる為、クリップの位置を調節できるようにし、シワの発生の問題を防止すると良い。

【0005】

【実施例】 クリップの一片に軸を設けクリップ部

（1）とする。この軸にスライド用の引っ掛かり（2）を設ける。クリップ部を受け入れる、軸受け（3）にスライド用の引っ掛かり（2）を設け、携帯電話（4）に取り付ける。この軸受（3）にクリップ部（1）を通し使用する。必要に応じ、携帯電話の底辺が、ポケットの底辺にあたる状態となる様、クリップ部をスライドさせる。これにより、本装置にて携帯電話を固定した際に、携帯電話がポケットにぶらさがり、ポケットに不要なシワが発生する問題が解消できる。又、このクリップ位置を調節可能とした事により、様々なポケットの深さに対応できるのみならず、様々な長さの携帯電話にも対応が可能である。又、本装置を外しておきたい等の場合は、軸受け（3）よりクリップ部（1）を外す。軸受（3）は、両面テープ、接着剤等で携帯電話（4）に取り付ける。又、

【図8】の様に予め携帯電話本体側に着脱部（5）を設け、着脱部（5）に対応する着脱可能軸受け（6）を設け、着脱可能としても良い。クリップは

【図7】の様に板状のクリップを用いても良い。又、着脱機能、クリップ位置調節機能は必要に応じ省いても、携帯電話を衣服のポケット、鞆の間仕切り等に固定するという本来の目的は達せられる。又、

【図5】の様に平型フック（8）を車のダッシュボード、机のパーテーションに取り付け、その平型フック（8）をクリップで挟めば、携帯電話ホルダーとしての使用も可能となる。

【0006】

【発明の効果】 本発明により、以下の問題が解決できた。

(ハ) 携帯電話をYシャツ等の胸ポケットに入れて持ち歩いても、本装置が携帯電話をポケットに固定する為、前かがみになる等して、携帯無電話がポケットより落ち、傷ついた、破損した等の問題を無くす事ができる。

(ニ) 携帯電話をスーツ等の内ポケットに入れておき、後にスーツを脱ぎ、スーツを手を持って歩いても、本装置が携帯電話をポケットに固定する為、ポケットから携

帯電話が落ち、破損した、紛失した等の問題を無くす事ができる。

(ホ) 携帯電話をスーツの内ポケット等に縦に入れ、動き回っても、本装置が携帯電話を内ポケットに縦の状態のまま固定するので、内ポケット内で携帯電話が斜め、又は横になってしまい、ポケットに余計な膨らみが発生してしまう問題を無くす事が出来る。

(ヘ) 作業ズボンの脇に付いているポケット等、大きく、奥行きが深いポケットに携帯電話を入れても、本装置が携帯電話をポケット入り口部に固定する為、ポ

ケット内で携帯電話が他の物の下に行ってしまう、取りづらくなる問題を無くす事が出来る。

(ト) 携帯電話を鞆に入れても、本装置が携帯電話を鞆の間仕切りに固定するので、鞆の中で携帯電話が書類等の他の内容物の間、下に隠れてしまい、鞆の中を探さなくてはならないという問題を無くす事が出来る。

(チ) 本装置をポケットベル、名刺入れ等に利用し、ポケット、鞆の間仕切り等にそれらを固定すれば、鞆の中でどこかに行ってしまう、ポケットより落ちる等の問題を防ぐ事が出来、他のポケット、鞆に入れる携行品にも

(リ) 車のダッシュボード、机等にも、平面タイプのフック等、クリップで挟めるものを設ければ、携帯電話を固定可能であり、従来の様に、かごタイプのホルダー等を設置する必要がない。

(ヌ) 本装置は従来の固定装置の様に、ベルトだけ鞆だけにしか固定可能なものではなく、様々なポケット、鞆にコンパクトに固定可能であり、ベルトをあまり着用しない、大きさがかさむのが困る、腰に固定するのは嫌だといった従来のカバー式固定装置を利用しない人々にも、安全且つ便利な携帯方法を提供する。

(ル) 従来のカバータイプと違い、携帯電話本来のデザイン、小ささを損ねない。

(ヲ) 本装置装着により、今までは不可能だった携帯電話のポケットへの固定が可能になり、携帯電話の持ち歩き

の利便性が飛躍的に向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の上面図。

【図2】本発明の側面図。

【図3】本発明の斜視図。

【図4】本発明の携帯電話への装着時の側面図と正面図。

【図5】平型フックの斜視図とその使用例

【図6】本発明の使用例

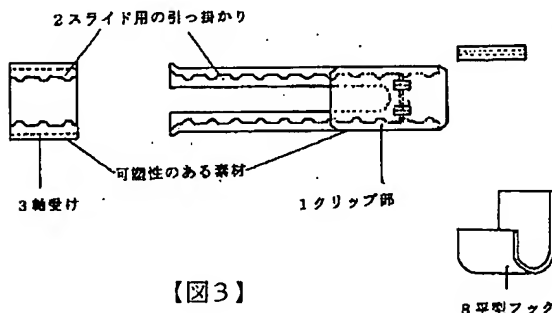
【図7】板状クリップを用いた例の本発明の斜視図

【図8】着脱可能軸受けの斜視図

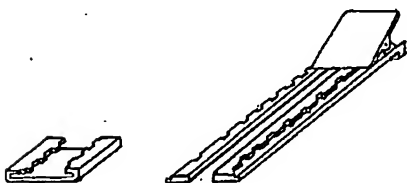
【符号の説明】

1クリップ部      2スライド用の引っ掛かり      3軸受け  
4携帯電話      5着脱部      6着脱可能軸受け      7板状クリップ  
8平型フック

【図1】



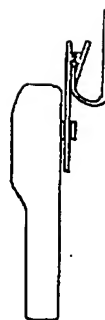
【図3】



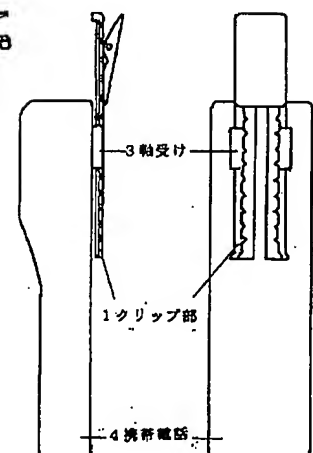
【図2】



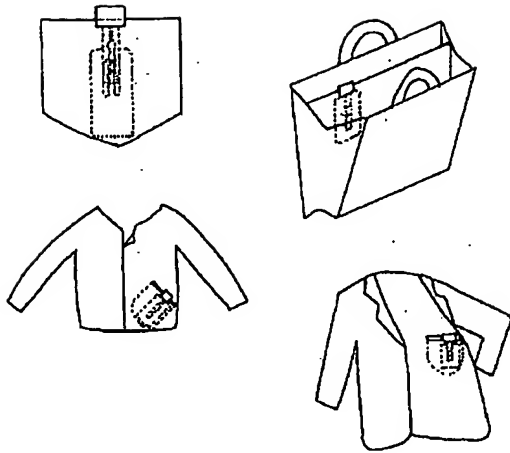
【図5】



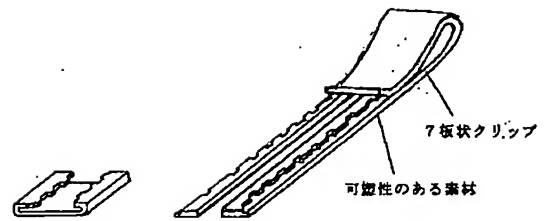
【図4】



【図6】



【図7】



【図8】

